

令和 6 年度 東京都福祉人材確保対策推進協議会 第 2 回専門部会（普及啓発部会）
議事概要

1 日時

令和 6 年 10 月 8 日（火） 午後 2 時から午後 4 時まで

2 場所

ビジョンセンター西新宿 3 0 3

3 主な意見

【SNS キャンペーンの実施について】

- ・法人の PR など、投稿する側のメリットが伝わるとアクションしやすいと考えられる。
- ・SNS を使い慣れていない人もターゲットにするのであれば、思っている以上に丁寧に導入する必要がある。
- ・来年度以降の課題かもしれないが、ビジネスケアラーやヤングケアラーなど、産業労働の分野まで広がりを持たせられると良い。
- ・自らの思いや職場の魅力を発信する際に、求人に繋げることがいやらしく見えないような出し方ができれば良い。
- ・今回のキャンペーンで福祉業界全体のイメージが上がれば、求人について間接的に効果があるのではないかと。

【「福祉」「福祉職」について】

- ・「福祉職」という言葉はやや固い印象があるといった意見が所属の団体内からあった。
- ・「福祉」という言葉が、一部の特定のものに対する言葉のようにになっているが、本来は公共の福祉など全般的な意味合いを持ち、広く捉えられる言葉であるはずである。「福祉」という言葉を隠していくよりは、そのような本来の意味を取り戻していく方が望ましいと考えている。
- ・福祉は誰でも関わることができる仕事であるが、知識が必要な職種であることから、「福祉」という言葉は前面に出し、医療と同様に専門職であることを打ち出した方が良い。
- ・福祉の仕事は具体的なイメージが湧きづらく、実際の現場を見て仕事を選ぶという流れが多いため、そのきっかけとして「福祉」という言葉自体に少しでも興味を持ってもらえるよう検討していくことは非常に重要である。